

Q 高校生以下の保険医療費無料化は

A 来年、国保の切り替え時期の8月から無料化を図る

Q 旧大和小学校の跡地利用は

A あと2、3年は利活用者の募集を続ける

高校生以下の保険医療費無料化を



進藤久美子 議員

質問 本町では早くから中学生以下の保険医療費の無料化を行い、子供を持つ親に大変喜ばれている。この事業については評価し、今後大きく期待するところである。

町政執行方針による「健やかなまちづくり」及び「みんなでつくる健やかなまち」を一層進めるため、子育て支援の一環として、現在の保険医療費の無料化を「高校生以下」までに拡大する考えがどうか、町長の考えを伺う。

町長 執行方針で掲げた政策の6つの想いを実現するため、現在、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定中であり、若い世代が安心して

子育てできるような社会経済環境を実現するための施策として、子育て支援の拡充を検討している。

先般、開催した各地域でのまちづくり懇談会においても、本件の質問と同様の主旨のご意見・ご要望が寄せられている。

この戦略の大きな柱の一つである「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ための取組みとして、高校生以下の医療費自己負担について助成できるように計画し、総合行政審議会で審議いただいた後、議会へ諮り、保険の切り替え時期の来年8月から無料化を実施したいと考えている。

地域活性化のために旧大和小学校跡地の再利用を



鈴木康裕 議員

質問 大和小学校は、平成21年3月の閉校以来、体育館を除いてその大部分が利用されていない。小学校の耐震改修工事の仮校舎としての使用やビニールハウス暖房装置の研究施設としての使用などの計画はあったが、いずれも本格的な跡地利用に結びついていない。地区の活性化のためには核となる施設が必要と考える。

閉校以来6年以上も経過し、再利用するにも外壁の洗浄や給排水設備改修などにかかりの経費が必要と思われるが、費用をかけても直すのか、最終的には取り壊すことも考えているのか、町の方針を伺う。

町長 平成25年から町ホームページでの募集揭示、文科省の廃校プロジェクトに情報を掲載して利活用者を募った。同年、ソーラー発電の設備を設置したいとの照会があったが、北電で電力の受け入れを不可とされ、実現しなかった。また昨年、外国人の語学研修施設としての打診もあったが、照会のみで進まなかった。町では最低限の維持管理を行ってはいるが、老朽化は進んできている。

旧大和小学校は、耐震診断をしていないので、校舎の再利用の形態によっては相当額の費用が必要となる。

引き続きホームページ等で利活用者の募集を進めるが、2、3年経過しても希望者がない場合は、解体も視野に入れ、地域の皆さまの意見を十分に伺ったうえで再検討する。